藤前干潟にぎわい再び

ハマシギ飛来 9年ぶり4000羽

藤前干潟への飛来数が増えているハマシギ（名古屋市港区の庄内川河口で）＝谷之口昭撮影

渡り鳥の貴重な中継地となっている名古屋港の藤前干潟（名古屋市港区など）で、ハマシギ㊧の1日の最大飛来数が昨年、9年ぶりに4000羽を超えたことが、名古屋鳥類調査会の調べで分かった。専門家は「餌になる生物が増え、渡り鳥がすみやすくなった」としており、環境省は今年初めて、ゴカイやアナジャコなど干潟の底生生物の全域調査を実施する。

餌増加など 環境省調査

同調査会は環境省から委託されて干潟の野鳥の調査を行っている。調査によると、ハマシギの飛来数は昨年11月10日に4030羽を記録。4000羽を超えたのは2000年5月6日以来だった。今年3月に入っても、4日の1647羽を始め1500羽を超える日が多く、春先にゼロの日が続いた昨年までとは大きく異なっている。

ハマシギは藤前干潟を代表する渡り鳥で、1990年代には1日の飛来数が1万羽を超えることもあったが、99年からは減少し続け、2003年には1350羽まで減った。その後も1000～2000羽台にとどまっていた。

同調査会の森井豊久代表(71)は「昨年秋から目立って群れが増えてきている。鳥は餌がなければやって来ないので、鳥にとってすみやすい場所になってきたのかも知れない」としている。

藤前干潟では以前から、中央部にあるくぼ地から発生する「貧酸素水塊」が問題になっている。45年前、伊勢湾台風後の護岸工事で土砂が掘り起こされたくぼ地は縦150㍍、横300㍍、深さ5㍍ほどで、プランクトンの死骸などがヘドロとなって堆積している。

微生物がヘドロを分解するために海中の酸素を消費し、周囲に酸素濃度の低い水塊ができ、底生生物の酸欠死を招いていた。「藤前干潟を守る会」などが以前から指摘しており、愛知県は2005年にくぼ地の埋め戻しを行った。

94年から藤前干潟を調査している愛知工業大の八木明彦教授は、くぼ地を埋め戻した効果が表れてきたとみており、「完全に埋め戻されたわけではないが、昨年からゴカイの餌になるケイ藻が増えている。埋め戻しによって貧酸素状態が改善された」と分析している。

藤前干潟は02年に鳥獣保護区の特別保護地区に指定され、ラムサール条約登録湿地となった。環境省中部地方環境事務所は「ハマシギは干潟の環境の指標になる鳥。底生生物について詳しく調査したい」としている。初めての全域調査は6月頃に実施し、調査結果を10月の生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）で発表する予定だ。

藤前干潟へのハマシギ飛来数

いのちの環

生物多様性COP10

ハマシギ　全長20㌢ほどで、くちばしと足がやや長い。シベリアやアラスカなどの北極海沿岸で繁殖し、冬には東アジアからオセアニアに渡る。日本には秋から春にかけて、本州の太平洋沿岸や四国、九州から中国などの海岸や河口、入り江の干潟などで見られる。

車内にライター か

北海道4児死亡 可燃物も散乱

棚橋翔央ちゃん(左)と諒央ちゃん

北海道厚沢部町社の山で、函館市桔梗1、無職棚橋智也さん(24)の生後7か月になる双子の男の子、諒央ちゃんと翔央ちゃんらとみられる子供4人が死亡した車両火災で、棚橋さんが道警の調べに対し、「数日前に車内からライターを2、3個回収したが、見落としがあったかもしれない」と話していることが3日、捜査幹部への取材でわかった。長女の歩夏ちゃん(3)は家でライターの火を付けて遊ぶことがあり、道警は火遊びの火が車内に散乱していた紙おむつなどに燃え移った可能性もあるとみて、出火原因を調べている。

捜査幹部によると、歩夏ちゃんは、家でライターを点火し、両親から何度か注意されていた。心配した棚橋さんは火災の2日ほど前、車内に落ちていたライターを回収したが、「車の中はゴミが散らばっていたので、見落としたライターがあるかもしれない」と話しているという。

車内には、紙おむつや紙くず、お菓子の袋、子供服などが大量に散乱。道警は歩夏ちゃんが車内に残っていたライターをいじっているうちに引火した可能性もあるとみて、棚橋さん夫妻から事情を聞いている。

3日午後から始まった車の検証では、これまでのところライターは見つかっていない。4日も引き続き検証を行う。

訂正　3日の「車炎上 4児死亡」の記事で、死亡したとみられる双子の男児の名前は「諒央ちゃん」と「翔央ちゃん」で、母親の季さんの年齢は21歳の誤りでした。

7病院拒否 女性死亡

伊賀の70代 通報から収容2時間

三重県伊賀市の70歳代の女性が3月、自宅で倒れ、救急搬送を要請した県内外の7病院に受け入れを拒否され、約2時間後に到着した津市内の病院で死亡したことがわかった。

伊賀市消防本部によると、女性は一人暮らし。3月19日午後5時30分頃、近所の人の通報で駆けつけた救急隊員が1階居間で血を吐いて倒れているのを発見。意識があり、消化器から出血していたとみられ、同市内の総合病院に電話で受け入れを依頼したが、断られ、約1時間10分後、津市内の病院が受け入れを了承し女性宅から約50分かけて搬送したが、すでに心肺停止状態になっており、翌朝、出血性ショックで死亡した。

受け入れを拒否した病院のうち5病院が公立。同本部は「搬送の遅れと死亡との因果関係は不明」としている。

伊賀市と隣接の三重県名

死線越え 夢のマウンド

脳腫瘍手術の山崎投手

今、野球ができることに感謝しなさい――。甲子園球場で3日に行われた選抜高校野球大会の決勝戦。先発のマウンドに立った日大三高（東京）のエース山崎福也さん(17)は2年前、脳腫瘍を患い、野球が続けられなくなることも覚悟していた。病を乗り越えてつかんだ夢の舞台。母路子さん(48)（埼玉県所沢市）は、帽子を大きく振ってわが子の健闘をたたえた。〈本文記事1面〉

日大三 選抜準V

脳腫瘍を乗り越え、力投を見せた日大三高の先発・山崎投手＝中嶋基樹撮影

「走ることもままならなかった福也が、この場所に立てるとは思わなかった」。一塁側アルプス席で路子さんは、聖望学園（埼玉）と沖縄尚学（沖縄）が対戦した2年前の決勝を思い出していた。長男の福之さん(19)が聖望学園の選手として出場。福也さんと共に同じアルプス席で観戦した。

福也さんが小児脳腫瘍と診断されたのは、その年の1月。医師から「生きるか死ぬかの手術になる。後遺症が残るかもしれない」と言われ、頭が真っ白になったという。

入院中は、入学が決まっていた日大三高の小倉全由監督(52)らから、励ましの手紙やメールが届いた。「待っているから、手術をしっかり乗り越えろ」。3月21日に摘出手術を受け、無事成功。驚異的な回復力で術後1週間で退院すると、4月中旬には練習に顔を出し、秋から本格的にトレーニングを開始した。

そして、ちょうど2年後の3月21日、エースとして今大会の初戦で完投勝利を飾った。全試合に先発し、決勝でも強打の興南打線を相手に166球を投じた。

父章弘さん(48)は巨人などでプレーした元プロ野球選手。兄と同じく選抜の決勝で沖縄のチームに敗れたが、福也さんの顔は晴れやかだった。「仲間を信じ、最後まであきらめずプレーすることを学んだ。自分のプレーで、病気の子供たちを少しでも勇気づけられたならうれしい」

邦人不明「捜査を開始」

【カブール＝新居益】アフガニスタン国内で行方不明になったフリージャーナリスト、常岡浩介さん(40)について、同国情報機関「国家治安局」の報道官は3日、本紙の取材に、常岡さんが誘拐などの事件に巻き込まれた可能性もあるとして「全国規模で捜査を開始した」と述べた。

電車にはねられ小1死亡

3日午後1時55分頃、兵庫県姫路市飾磨区中島の山陽電鉄中島東第1踏切（遮断機、警報機付き）で、同市東今宿、会社員津田貴司さん(35)の長女で小学1年の美咲さん(6)が、阪神梅田発山陽姫路行き下り直通特急（6両）にはねられ、約1時間後に死亡した。

文部科学大臣委嘱
受講生募集
司書・司書補講習
受講資格など、講習についての情報を http://www.lib.agu.ac.jp/sisyo/sisyo/N_index.shtml に掲載しております。
募集要項請求期間 4/29(木)必着 ※郵便配達までに日数がかかる場合があります。
受付期間 4/5(月)～5/7(金) 消印有効
受講申込には募集要項が必要です。要項請求は、はがきもしくはEメールに①郵便番号②住所③氏名④電話番号⑤「募集要項希望」を明記の上、下記へお申込み下さい。
※Eメール見出し（件名）は「募集要項請求」として下さい。
司書 講習期間：7/16～9/18 募集定員：200名
司書補 講習期間：7/17～8/28 募集定員：50名
愛知学院大学
司書講習事務局
〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12
☎〈0561〉73-1111(内線)5042
Eメール sisyo@dpc.agu.ac.jp

社会面に情報を
〒460-8470 読売新聞中部支社 社会部
FAX 052-211-1085
chubu@yomiuri.com
写真はこちらへ
読売・日経・朝日 よみうらべ 新ら あらたにす
http://allatanys.jp
読売・日テレ投稿サイト「みんなで特ダネ！」へは
dokusyap@yomiuri.com

おあしす
◇…フィギュアスケートの世界選手権でアベック優勝を果たしガイシアリーナ（名古屋市南区）で開かれた名古屋フィギュアスケートフェスティバルに出演した＝写真＝。
◇…6人が顔をそろえたのは五輪後初で、約4000人が華麗な滑りに酔いしれた。先陣を切って小塚崇彦選手（トヨタ自動車）が登場すると、会場から一際大きな拍手が起こった。鈴木明子（邦和スポーツランド）、織田信成（関大）、安藤美姫（トヨタ自動車）、高橋選手と続き、浅田選手がトリを務めた。
◇…演技を終えた後、記者会見した浅田選手は「メダリストと

Yomiuri Information

トークと歌で「大人の恋」

5月9日、1周年記念イベント

人のためのネットワークウィルビー」（残間里江子代表）（読売新聞など協賛）は、クラブ周年を記念して、トークサート「大人の恋を語ろう」する。現在、参加申し込み受け中。

テーマは「大人の恋」。大人の恋とは何か、若い頃の恋とは違う楽しみとは――。年齢を重ね、様々な経験を経てたどり着く恋の真実について、トークと歌で解き明かす。

トークゲストには、恋愛小説で名高い藤田宣永さんと、演出家や女優として数多くの恋物語を演じてきた渡辺えりさん。歌のゲストには、恋の歌を情感たっぷりに歌い上げるクミコさんと今陽子さんを迎え、「大人の恋」を約3時間にわたって語り、歌い尽くす。

なお、メンバーに向け、学びや交流の場を提供しているクラブ・ウィルビーでは、ウェブサイトで随時メンバーを募集中（登録無料）。

club willbe

（撮影・下林彩子）
藤田宣永さん　渡辺えりさん　クミコさん　今陽子さん

＜「大人の恋を語ろう」開催概要＞
■出演　トークゲスト／藤田宣永（作家）、渡辺えり（劇作家・演出家・女優）。歌のゲスト／クミコ、今陽子。総合司会／残間里江子（敬称略）
■日時　5月9日午後4時開演、午後7時終了予定
■会場　サントリーホール　ブルーローズ（東京都港区赤坂、地下鉄南北線六本木一丁目駅徒歩7分）
■定員　約300人
■参加費　メンバー7000円、ビジター7500円（税込み・全席自由）
■申し込み方法　ウィルビーのウェブサイトか電話で。詳しい内容や、クラブ・ウィルビーへのメンバー登録は、ウェブサイト（http://www.club-willbe.jp）から。
■問い合わせ　☎03・5772・2221（土日・祝日を除く午前10時―午後6時）

企画・制作　読売新聞東京本社広告局　PR

弊社商品「銘店伝説東珍康」（要冷蔵）に関するお詫びとお願い
平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
この度、弊社商品「銘店伝説東珍康」（要冷蔵）の原材料の表示に誤りのある商品が出荷された事が判明しました。
誤表示内容は、原材料の表記が別商品の記載となっております。
このため、「銘店伝説東珍康」（要冷蔵）

住まいと暮らしの 読売ホ
www.yomiuri
ヨミウリ・オンラインがお

☆近々独立を希望されている方
☆現在補助税理士として勤務されている方
☆税務・会計に情熱を燃やせる方
税務・会計スタッフ
給与／当事務所規定により優遇

薬剤師募集
パート　時間相談